

2014 年度事業報告書

NPO 法人市民ネットすいた

I 事業期間

2014 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日まで

II 事業の成果

吹田市立市民公益活動センター（ラコルタ）は、様々な企画等で順調に来館者数が増加し、年間 6 万人を超えるまでになった。また、相談件数も毎月 40 件弱となり、様々な課題が持ち込まれるようにもなった。相談は、市民からだけではなく、行政、他市の市民活動センターからもあり多方面から頼られる存在になっている。また、事業は当初の計画以上に実施でき、多くの市民が市民活動への想いから、実行への一步を踏み出すことができる支援ができた。

2015 年 4 月よりラコルタの施設使用料減免制度が廃止される予定であったが、その制度の疑問点や市民活動団体が直面している経済的課題についての配慮が必要なことを当法人から吹田市に申し入れた。その結果、ラコルタの施設使用料は、2016 年 3 月まで減免制度の廃止が延期されることになった。

また 2007 年 3 月に市が策定・施行した「吹田市市民公益活動の促進に関する基本方針」を、現状に即した視点から検討し、幾つかの見直しを提案した文書を、9 月 30 日付で市長宛てに提案書として届けた。

III 事業の実施状況

1. 市民公益活動に関する情報収集・提供・広報を支援する事業

① ホームページの運営（2014 年 4 月～2015 年 3 月）

市民公益活動を支援・促進する団体である当法人は、ホームページを通じて情報発信の基地となるような情報収集を行い各種情報の発信に努めた。毎月開催される理事会の開催日告知、広報紙紙面の公開、総会資料の開示等も実施している。

② 広報紙の発行（2014 年 4 月～2015 年 3 月）

広報誌「CNS ニュース」を 4 回（No.11～14）〈各 1200 部〉発行し、公共施設や市民公益活動団体などを通じて、広く市民に配布した。12 号では、2007 年 3 月に市が策定・施行した「吹田市市民公益活動の促進に関する基本方針」の幾つかの見直しをこの 9 月 30 日付で市長に提案した記事を掲載した。

③ 新しいリーフレットの作成

市民には見え難く、分かり難い中間支援活動を理解していただくために、当法人のリーフレットは大切なツールである。そのため、紙面を見やすく、活動を分かりやすく図式化し、入会申し込み用紙もはめ込み、1000 部印刷した。

2. 市民公益活動団体相互および市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業

① 「復興支援すいた市民会議」の活動への参加（2014年4月～2015年3月）

「復興支援すいた市民会議」は市民活動団体や個人が集まっているので、この組織の活動をコーディネートするようにしている。

隔月の定例会を通じてそれぞれの団体の日常活動の中から支援に繋がる活動を連携して行っている。また、本年度は、特に関西大学と大阪学院大学の学生が積極的に参加し定着した結果、世代を超えての活動になっている。

② 指定管理者交流会の開催（2015年1月22日）

吹田市内の指定管理者7団体が集まり、公共施設の管理運営で直面する課題を抽出し、解決にあたるための意見交換を行った。

3. 市民公益活動拠点施設を管理運営する事業

① 吹田市立市民公益活動センターの管理運営（指定管理者）（2014年4月～2015年3月）

ラコルタは、市民公益活動を支援するセンターとして、ボランティアや市民活動をしている者だけでなく多くの地域住民が気軽に訪れるところとなった。

② 第7回北摂地域市民活動支援センター交流会への参加（10月27日）

北摂7市の市民活動支援センターを運営している中間支援のNPOが「サプリ村野」に会って、同じような課題を持つ団体同士、情報交換などをおこなった。

「サプリ村野」はNPO法人ひらかた市民活動センターが管理運営している施設で、改装オープンされた新しく気持ちの良いセンターの見学案内もあった。

③ 関西NPO支援センターネットワーク研究会の運営（2014年7月～2015年3月）

2015年1月8日に千里ニュータウンプラザ8階の多目的ホールで開催した第25回研究会を（特活）市民事務局かわにしと共に世話役として運営した。

関西の支援センターを運営する21団体50人が集まって意見交換をした後、「“私のおもい”が始める市民社会」をテーマに生駒市「One Dish Aid 食器リサイクルの会」、吹田市「すいたまん塾」の活動事例発表を含めてクロストークを行った。

4. 市民公益活動の促進のための社会的な環境の整備を行う事業

① 地域コミュニティ運営講座（5月18日）

2014年総会記念事業として、地域運営のユニークな他市の事例を取り上げた講座をラコルタと共同で開催し、新しい地域の仕組みとなる「（仮称）地域委員会」は、地縁団体を上手に組み入れる必要性を元手塚山大学教授中川幾郎氏から学んだ。

② 吹田市における市民公益活動促進施策の評価・見直し

吹田市で2007年3月に制定された「吹田市市民公益活動の促進に関する基本方針」を見直し

た。資金的な問題を抱えた多くの市民団体にとって、ラコルタ等の会議室使用減免処置は残してほしいことや、南千里のラコルタだけでなく、サテライト的な施設がJR以南や江坂方面等にも必要などの提言を 9月末に市長宛に提出した。

③ 当法人の活動・事業の中長期的な方向の検討

設立して3年の経験を踏まえて、当法人の目的・使命を見直し、今後5年間の活動・事業の中長期的な方向を検討した。役員だけでなく、多くの会員にも呼びかけ中長期計画検討委員会を立ち上げて5回の委員会を持つことができた。

④ 第9回「大阪商工信金社会福祉賞」の推薦

社会貢献活動に取り組んでいる団体及びプロジェクトに贈られる「大阪商工信金社会福祉賞」の推薦団体として3団体を推薦し2団体が奨励賞を受賞した。

IV 社員総会の開催

2014年5月18日（日）、2014年社員総会を開催し、2013年度の事業報告書（案）、活動計算書（案）、2014年度の事業計画書（案）、活動予算書（案）、任期満了に伴う役員改選について審議した結果、全て可決承認された。出席者は、社員54名のうち委任状出席者を含めて34名であった。

V 理事会運営

定例理事会をつぎのとおり開催し、事業の企画・実施体制・結果報告などPDCA（Plan Do Check Action）サイクルを点検し、確実に事業が実施できる運営を進めた。

2014年度

第1回理事会	4月17日（木）
第2回理事会	5月15日（木）
第3回理事会	6月21日（土）
第4回理事会	7月26日（土）
第5回理事会	8月23日（土）
第6回理事会	9月20日（土）
第7回理事会	10月25日（土）
第8回理事会	11月22日（土）
第9回理事会	12月27日（土）
第10回理事会	1月24日（土）
第11回理事会	2月24日（火）
第12回理事会	3月28日（土）